

滋賀の山で育った木を使い 伝統工法でじっくり建てる 地産材の住まいづくり。

林業の衰退で間伐されず手入れ不足になった森林。保水力の衰えによる土砂災害、野生動物の生態系が崩れるなど「山の問題」は私たちの暮らしにも影響を及ぼしています。滋賀の地産材を使って、こだわりの住まいづくりを進める坂田工務店。山と森の健やかさの回復を目指す「安曇川流域・森と家づくりの会」の中心メンバーとして、住まい手の意識を山に向けることから取り組んでいます。



Profile 代表取締役社長 坂田徳一氏

**木は木材になっても生き続ける
だから「近くの山の木」を使いたい**

——地産材の住まいづくりに取り組まれたのはなぜですか。

坂田 ●1995年の阪神淡路大震災で多くの木造家屋が倒壊したのに衝撃を受けたのがきっかけでした。戦後の大量生産、大量消費の流れの中で家づくりも変わり、木材を束ねて貼り合わせた集成材で建てるのが主流になってきました。価格の安さや工期の短さが競われていたわけですが、震災の被害を目にし、人の命を守る住宅本来の役目を強く考えさせら

れました。滋賀で同じ思いを持った同業種の仲間と「木考塾」を立ち上げ、全国から意識の高い設計事務所や工務店が集まる「MOKスクール」にも参加しました。他の地方の事例を学ぶうちに、本物の木材を使い、職人が梁と柱でしっかり組み上げる伝統工法の「木の住まい」を広めたい。できれば滋賀で育った地産材で家を建てたいと考えるようになりました。

——なぜ、地産材がよいのでしょうか？

坂田 ●木は梁や柱になっても生きていくからです。呼吸し、日照や寒暖によつて伸び縮みし続けます。だから、家を建てる地域の近くで育った木で

大工の刻み作業などにも立ち会っていただきます。木を育てる人、伐る人たちと施主さんが「顔の見える関係」になつてこそ森を育てるムーブメントにつながります。

——家の建て方も美に丁寧ですね。

坂田 ●墨を打ち、手作業で木材を組み合わせる組手や継手を用いた伝統工法でじっくり建っています。明治25（1892）年の創業以来、120年間蓄えた坂田工務店の技がここに生かされます。お申し込みから竣工まで長ければ2年かかりますが、当社1社では年間5棟ほどしか建てられません。生産性を優先する家づくりに比べると非効率ですね。

坂田 ●安曇川上流にあたる朽木周辺に広がる森で、雪に強いアシウスギなど素材として一級品の木があります。林業家の栗本さんはここで森林を守り続けてきた人で、50年ほど前の林業政策で変わってしまった森の植生を自然の姿へ戻そうと努めておられます。「この森の木で家を建てたい」。そう思われた施主さんは「森と家づくりの会」を通じてメンバーの工務店や設計士と出会い、地産材の家づくりが始まります。

——「顔の見える家づくり」を重視しておられます。

坂田 ●家づくりをきっかけに施主さんにも山を肌で感じてもらいたい。そう考え、木材の伐採や製材作業、



自分の家で使われる木を伐採前に見学する施主



長年積み重ねた職人技が発揮される伝統工法



毎年開催している木の魅力を伝えるイベント

薪ストーブがある暮らしを提唱 住まいは「暮らし方」まで変える

——伊香立公園そばに建つモデルハウス「もりいえ」は樹齢100年の杉の一枚板を玄関扉に使うなど贅沢な印象です。建築費もお高いのでは？

坂田 ●「もりいえ」は地域の職人との連携や設計上の工夫、また節のある並材を賢く使って坪単価を約65万円としています。建築費以上の価値を提供できていると考えています。外の環境と遮断された高断熱住宅が省エネ性が高いとされていますが、私たちの発想では光と熱は太陽の恵みを生かしています。植え込みの樹木で夏の日差しを和らげる。環境と共生する「開

とで地元の山や森の健やかさを回復できればとの思いから「森を育て、木を伐ることから始まる家づくり」に取り組み始めたのです。もちろん当社だけではできません。一級建築士の宮村太さん、林業家の栗本慶一さんなど思いを共有する仲間と共に一般社団法人「安曇川流域・森と家づくりの会」を結成し、森林組合や製材所にも合流してもらえました。

施主さんと山で働く人たちが 「顔の見える関係」になれるよう

——木を伐つておられる「安曇川流域の森」について教えてください。

「薪ストーブがある暮らし」です。できれば薪ストーブで暖を取り、庭で家庭菜園を楽しむ暮らしをお勧めしたいですね。薪を割らないと暮らせない不便さが家族の絆やお子さんの自立心を育てていこう。そんな「暮らし方」まで提案するのが私たちの家づくりなのです。

——森の再生はめどが付きませんか？

坂田 ●まだ道半ばですね。でも、この15年ほどで60棟（坂田工務店1社の実績）を湖西や湖東に建てる中で住まい手の意識が着実に高まっているのを感じます。「山のワークショップ」や「木工体験教室」などの木の魅力を伝える活動も併せて行い、さらに地域の方々へも輪を広げていきたいですね。



近江商人の「三方よし」（売り手よし、買い手よし、世間よし）の精神に「環境配慮型経営」「社会貢献型経営」「地域特性型経営」「LOHAS型経営」を融合させた滋賀ならではのCSR経営。このコーナーでは、独自のCSR活動に取り組む企業を紹介します。

株式会社坂田工務店 <http://www.sakatakoumuten.co.jp/>

- 本社/大津市伊香立下在地町967
- 設立/1993年
- 従業員/10名
- 事業内容/一般注文住宅の設計施工・住宅リフォーム工事